

□ 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。解答に字数の指定がある場合は、句読点やかっこなどの記号も字数として数えます。
(設問の都合上、本文に一部表記を改めたところがあります。)

書物に対するとき、一番大切なのは、正直さと①愛情^{あいじやう}でしょう。aペイ
ボン^{ペイ}き^{ボン}まる話ですが、このあたりまえないことをするのがなかなか難しい
のです。

愛情とは、書物に向かって何かを本気で求めることです。人を愛するこ
とは、ときには※致命的な結果をとまなう^{もちめいてき}もボウケン^{ボウケン}ですが、書物を読む
のも根本においては、それと同じ行為であるはずで、さなければ、書物
から彼らは害をうけることもなければ利益もうけることもあり得ません。

ある書物の影響がぼくらの生活に害を与えるか利益を与えるかは、元来、
その著者の知ったことではないので、彼はただ自分の感得した人生の真実
の姿を描き、あるいは思想の形でそれを述べているだけです。

問題は、②その姿がぼくらに訴^{うた}えてくれるかどうかということです。

(A) ぼくらにそういう感化を与える書物は、ちようどぼくらの
生涯^{しょうがい}に大きな役割を演ずる友人や異性がそうであるように、出会ったは
じめから、何か予感があるものです。しかし書物の弱点は、それが人間と
違^{ちが}って、自ら積極的に相手にはたらかかけず、形のできあがつた世界を守
って、そこに読者がはいつてくるのを待ただけだといふ点にあります。

だから書物には、いつも③相手の世界に積極的に踏み込むつもりで対す
べきで、この速^{すみ}感^{かん}の要らぬところが、読書の主要なおもしろみなので
すが、このとき一番大事なことは、正直であることです。人間と人間との交
渉でも、正直が大切であることは、変わりありませんが、それでも利益や欲
情がからめば、嘘^{うそ}をもとにした交渉もときには成り立ちます。

(B) 書物に対するときは、④正直さをもたなければ、読書という
行為そのものが意味を失うのです。※無論この場合は正直といっても自分
自身に対するもので、つまりはそのとき感じたことについて、自分自身を
※いつわるな、ということですが、こんな簡単なことが案外難しいのは、
だれしも経験するところでしょう。

その一番主な理由は、⑤読書が現代ではいつも()に支配される

() ① 的行動のようなものになっているからです。ぼくらが本を読む
d動機は多くの場合、それについて人々と話す必要から、あるいは読まぬ
と※時勢におくれるという※顧慮^{こりよ}からの場合が大部分ですが、こういう場
合にある書物について人々と違^{ちが}った意見をもったとき、それを発表してお
しとおすには、よほどの勇氣と自信を要します。それでいつのまにか周囲
の意見に※同化されて、自分の感覚を捨ててしまうのが、ぼくらの※群居
生活の本能では(C) 自然なのですが、⑥これが読書の本質から
見れば、ほとんど自殺的な※所業^{しやうごう}であるのは、これまで述べたところか
ら明らかでしょう。

(中村光夫『私の読書法』)

※致命的：…滅亡、失敗の原因となるさま。
※無論：…言うまでもなく。もちろん。
※いつわる：…事実を曲げて言う。だます。
※時勢：…時代の移り変わる勢い。世のなりゆき。
※顧慮：…あることも考えに入れて、気を配ること。
※同化：…たがいに性質の違^{ちが}ったものが同じ性質にかわること。
また、かえること。
※群居：…群がっていること。群がり住むこと
※所業：…おこない、しわざ。

問1 Ⅱ a s d について、カタカナは漢字で、漢字はその読みをひらが
なで書きなさい。

a	
b	
c	
d	

問2 (A)・(B)・(C)に入る語として最も適切なものを、
次から選び、記号で答えなさい。

ア つまり イ だから ウ しかし エ そして
オ あるいは カ むしろ

A
B
C

問3 ①「愛情」とありますが、書物に対する「愛情」とはどんなもの
ですか。本文中から二十字以内で抜き出して答えなさい。

問4 ②「その姿」とはどういうことを指していますか。「書物の著者
が描いた」に続くような語句を本文中から抜き出して十五字以内で答え
なさい。

書物に著者が描いた()。

問5 ③「相手の世界に積極的に踏み込むつもりで対すべき」とありま
すが、これは書物がどのような性質を持つからですか、本文中から五十
字以内で探し、最初と最後の三字を抜き出しなさい。

最初		最後

性質。

問6 ④「正直さをもたなければ、読書という行為そのものが意味を失
う」とありますが、「正直さ」とはどうすることを指していますか。「書
物を読んだとき」に続くように本文中の語を用いて答えなさい。

書物を読んだとき

--

二〇一九年度 C 選考

国語
その二

問7 ― ⑤「読書が現代ではいつも（ ）に支配される（ ）的行動

のようなものになっている」とありますが、この空欄に入る語の組み合わせとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア マスコミ・消費
イ 政治・強制
ウ 学校・教育
エ 流行・集団
オ 趣味・自主

問 8 — ⑥ 「これ」の指す内容を、五十字以内で答えなさい。

[illegible]

□ 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。解答に字数の指定がある場合は、句読点やかっこなどの記号も字数として数えます。

（設問の都合上、本文に一部表記を改めたところがあります。）

高校生である「俺（神谷）」、そして一ノ瀬達は、陸上部に所属している。エースの連は南関東大会を前に足を故障してしまいが、怪我が心配する先生が止めるのも聞かず練習を続けていた。大会に向け厳しい練習をする連は、「言うことが聞けないなら出ていけ」と先生から厳しく叱られる。

連は返事をせずに黙って先生を見ていた。先生の目がうるんで見えた。涙をこらえているように見えた。俺も胸の中に何かがせりあがってきた。

① このかたまりきった場面を救うために、俺は何か言わなきゃと思ったが、

(A) 声も言葉も出てこなかった。

「先生、すみません。」謝つたのは、※守屋さんの声。守屋さんが連の隣に来て、連の頭を無理やりぐいと押すようにして、二人で礼をした。「先生、勘弁してください。言いつけを破つてすみません。無茶してすみません。」「おまえが謝るこたア……」言いかけた先生の言葉を守屋さんは遮つた。「部長として部員の管理が行き届きませんでした。俺がもつとこいつに言つて聞かせないといけませんでした。」

連が何か言いたそうに守屋さんを見たが、構わずに続けた。「どこかで俺自身が一ノ瀬に期待していたのかもしれませんが。こいつと走ることをあきらめきれなかったのかも」れません。俺にそんな気持が少しでもあつたら、一ノ瀬があきらめてくれるわけがないです。②自分勝手でした。もし、こいつに③何かあつたら……」守屋さんは、その先までは言わずに唇をかみしめた。

④連は黙って、守屋さんの横顔を見ていた。あきらめきれない無念そうな表情が、初めて連の顔に表れた。ずっと隠していた表情。心の内を連は決して顔には出さず、意固地に「淡々と」逆らい続けていた。一度、悔しさを、あからさまに表に出してしまうと、ゆっくりと少しずつ顔つきが変わっていった。連の中で何かがほどこっていくようだった。

そうか……。俺はようやく理解した。守屋さんだ。守屋さんのために、連は走りたがっていた。※4 継という競技の魅力以上に、南関東という舞台の華やかさ以上に、連にとって大きなものがあつたんだ。

⑤「俺たちに任せてくれ、一ノ瀬。」守屋さんはきつぱりと言った。「※

桃内、神谷、※根岸、守屋、みんなで、めいっばい走るよ。」

(佐藤多佳子『一瞬の風になれ』)

※リレメン：リレメンバーの略。

※守屋さん：陸上部の部長。三年生で南関東大会が最後の試合となる。

※4 継…四百メートルリレーのこと。

※桃内・根岸：リレーメンバー。

問1 || a「淡々と」・|| b「あからさまに」の意味として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

a

ア ゆつくりと
イ うつすらと
ウ あつさりと

エ さつそうと オ しつとりと

b

ア ぼんやりと イ ひどく急に ウ ほんの少し

工 隠すことなく 才 絶えきれず

a



b.

問2 ―①「このかたまりきった場面」とありますが、何が場面をかたまりさせているのですか。その説明として最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 部員たちそれぞれの、大会にかける思い。
イ 連、リレメン、先生の、それぞれの気持ち。
ウ 泣きそうな先生を見たリレメンの戸惑い。
エ 連の、先生に対する反抗的な態度。
オ 生徒たちと向き合う先生の真剣さ。

生徒たちと向き合う先生の真剣さ。しんけん

問3 (A)に入る語句を、次から選び、記号で答えなさい。

ア　せきをきつたように
イ　疲れ切つたように
エ　どわすれたように
ウ　干上がったように

問4 ―②「自分勝手」とありますが、守屋さんは自分のどのような点を「自分勝手」だったと言っているのか。三十文字以内で答えなさい。

[illegible]

問5 ―③「何か」とありますが、これはどのようなことを言っていますか。三十五字以内で答えなさい。

問6 ―④「俺は黙って、守屋さんの横顔を見ていた。」とありますが、このあとの、連の表情の変化を見た「俺」は、どのようなことに気がついたのですか。「ということ。」につながるように、本文から二十字以内で抜き出して答えなさい。

ということ。

問7 ―⑤『俺たちに任せてくれ、一ノ瀬。』守屋さんはきつぱりと言っ
た。」とありますが、ここで守屋さんが「きつぱり」と告げたのは何のた
めですか。最も適切なものを、次から選び、記号で答えなさい。

- ア あきらめきれない連をあきらめさせるため。
イ 部長としての威厳を部員たちに示すため。
ウ 先生に自分たちの意見をはっきり伝えるため。
エ 大会に向け、リレメンの意気を高めるため。

三 次の①～⑤の熟語と同じ構成になっているものを、あとのア～オの中
から選び、記号で答えなさい。

--

- ① 取捨 ② 山頂 ③ 産卵 ④ 骨折 ⑤ 無理
ア 未定 イ 日照 ウ 陰陽 エ 就職 オ 家業

①	②
④	⑤

四 次の①～⑤の言葉と似た意味の言葉をあとのア～オの中から選び、記
号で答えなさい。

- ① 五十歩百歩 ② 医者の不養生 ③ 他山の石
④ 提灯に釣り鐘 ⑤ 蛇足

- ア 月とすつぽん イ 無用の長物 ウ どんぐりの背比べ
エ 紺屋の白袴 オ 人のふり見て我がふり直せ

①	②	③
④	⑤	